

科目名 (Eng)		地域計画 (Regional Planning)								
担当教員		齊藤 充弘								
対象学年等		学科	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		建設環境工学科	4	通年	コース必修	2	(30)	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-4).									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2).									
		JABEE基準1 (1)との対応：(d)-(l).								
授業の概要と方針		都市・地域計画の基礎的な知識と理論を習得するとともに、現代のまちづくりの事例を通して近代都市計画の課題と将来展望について学習する。								
到達目標		①全国総合開発計画について理解し、国土計画の現状を説明することができる。 ②近代都市計画の設計理論を理解し、都市計画の考え方を説明することができる。 ③都市計画の内容や基本事項を習得し、地域の課題を抽出することができる。 ④まちづくりの考え方を習得し、まちをみる目を養う。								
授業計画										
前期	週	授業項目		理解すべき内容				事前学習		
	1	オリエンテーション		都市とは何か、都市計画とは何か				教科書1頁～12頁を読む。		
	2	地域構造		福島県・東北地方の地域構造				地図帳をみて福島県・東北地方の地域特性を把握す		
	3	地域開発の歴史と地域構造の変化		古代～近代までの地域計画				教科書29頁～31頁を読む。		
	4	全国総合開発計画(1)工業化の時代		全総、新全総				近代までの地域計画を復習。		
	5	全国総合開発計画(2)成熟社会と環境への配慮		三全総、四全総				全総、新全総について復習。		
	6	全国総合開発計画(3)		21世紀の国土のグランドデザイン、国土形成計画				四全総まで復習。		
	7	前期中間試験								
	8	国土計画と地域構造		国土計画の現状と課題				中間試験の反省と国土計画についての復習。		
	9	人間活動の歴史的展開と都市形成		自然発生都市				教科書13頁、14頁を読む。		
	10	都市問題の発生と都市計画の誕生		計画都市、土木構造物の建設				自然発生都市についての復習と教科書15頁、16頁を読む。		
	11	都市の空間システム		都市構造、空間構成要素				第9週、10週の内容の復習。		
	12	近代都市計画の設計理論(1)		田園都市、工業都市				教科書17頁を読む。		
	13	近代都市計画の設計理論(2)		300万人の現代都市、近隣住区理論				教科書18頁～27頁を読む。		
	14	近代都市計画の展開(1)		計画の前提と課題				第12、13週の内容の復習。		
	15	近代都市計画の展開(2)		日本における展開、欧米との違い、近世城下町				前期のまとめ、復習。		
試験について		中間試験は、授業時間中に50分で実施する。期末試験は、50分で実施する。								
評価方法		定期試験の成績を70%、キャッチボールシートへの記入状況やレポート、課題の総点を30%として総合的に評価する。								
教科書		新地域および都市計画、新編土木工学講座19、コロナ社								
参考書		都市計画、日笠端、共立出版 都市計画教科書、都市計画教育研究会編、彰国社								
関連科目		システム工学、交通工学、工学実験・演習								
履修上の注意		政治、経済、社会的諸活動が日常的に展開する都市を総合的な視点からみるため、理解するために取り入れる知見は多く、関係する学問の幅も広い。絶えず問題意識をもってまちをみて、利用すること。また、毎回のキャッチボールシートへの記入や課題の提出により、自学自習や理解度を確認する。								

科目名 (Eng)		地域計画 (Regional Planning)								
担当教員		齊藤 充弘								
対象学年等		学科	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		建設環境工学科	4	通年	コース必修	2	(30)	専門	A	○
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応：(B-4).								
		卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2).								
		JABEE基準I (1)との対応：(d)-(1).								
授業の概要と方針		都市・地域計画の基礎的な知識と理論を習得するとともに、現代のまちづくりの事例を通して近代都市計画の課題と将来展望について学習する。								
到達目標		①全国総合開発計画について理解し、国土計画の現状を説明することができる。 ②近代都市計画の設計理論を理解し、都市計画の考え方を説明することができる。 ③都市計画の内容や基本事項を習得し、地域の課題を抽出することができる。 ④まちづくりの考え方を習得し、まちをみる目を養う。								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習			
後期	16	都市計画の内容(1)	区域指定，線引き				教科書69頁～72頁を読む。			
	17	都市計画の内容(2)	用途地域制，土地利用計画				第16週の内容の復習。			
	18	都市計画の内容(3)	道路と敷地の関係，建ぺい率，容積率				教科書69頁～81頁，100頁～106頁を熟読する。			
	19	都市計画の体系	都市計画マスタープラン，上位計画，下位計画				現代の都市計画が抱える課題について整理・復習。			
	20	市街地整備	市街化，道路の役割				第16週～19週の内容について復習。			
	21	市街地整備手法(1)土地区画整理事業	目的，ルール，しくみ				市街地，市街化，都市計画の内容について復習。			
	22	後期中間試験								
	23	市街化と市街地整備	宅地化，都市施設整備，農地保全				中間試験の反省と市街化と市街地整備に関する復習。			
	24	市街地整備手法(1)土地区画整理事業	換地，減歩，保留地				第21週の内容の復習。			
	25	市街地整備手法(2)地区計画制度	土地区画整理事業の実際と地区計画制度				土地区画整理事業のメリット，デメリットについて復習。			
	26	市街地再開発手法(1)	土地収用事業方式				市街地整備手法について復習。			
	27	市街地再開発手法(2)	権利変換事業方式				市街地再開発事業と土地収用事業方式について復習。			
	28	市街地再開発手法(3)	特定街区制度，総合設計制度				市街地再開発事業の目的，内容，現状について復習。			
	29	市街地整備の現状と課題	地方都市の中心市街地の現状と課題				いわき市の中心市街地問題について，考える。			
30	都市計画からまちづくりへ	個性を活かしたまちづくり，住民主体のまちづくり				一年間の総まとめ，復習。				
試験について		中間試験は，授業時間中に50分で実施する。期末試験は，50分で実施する。								
評価方法		定期試験の成績を70%，キャッチボールシートへの記入状況やレポート，課題の総点を30%として総合的に評価する。								
教科書		新地域および都市計画，新編土木工学講座19，コロナ社								
参考書		都市計画，日笠端，共立出版 都市計画教科書，都市計画教育研究会編，彰国社								
関連科目		システム工学，交通工学，工学実験・演習								
履修上の注意		政治，経済，社会的諸活動が日常的に展開する都市を総合的な視点からみるため，理解するために取り入れる知見は多く，関係する学問の幅も広い。絶えず問題意識をもってまちをみて，利用すること。また，毎回のキャッチボールシートへの記入や課題の提出により，自学自習や理解度を確認する。								